

# 社会科（地理）学習指導案

授業者

指導教員

1. 日時：平成 29 年 6 月 21 日(水)5 限目
2. 学級：2 年 2 組(男子 24 名 女子 13 名 計 37 名)
3. 場所：2 年 2 組教室
4. 単元名：日本の諸地域<近畿地方>
5. 単元目標：環境問題や歴史的な町なみの保全問題など環境保全に注目して、近畿地方の特色を追及する。

## 6. 教材観

これまで九州地方、四国地方で地域の振興・開発発展を学習してきた。ここでは住民の利便性の追求が歴史的景観の損失につながることもあり、その調和を大切にする取り組みについて理解させたい。

## 7. 生徒観

チャイムが鳴るまでに着席し、授業準備ができている生徒がほとんどである。教科係は毎時間授業前に実物投影機を用意し、電子黒板につないでくれる。授業中に活発に意見を出す生徒が多くいる。その一方で、発言に控えめな生徒もいるので一部の生徒だけが発言する授業にならないように全員が発言しやすい発問や雰囲気心を心がけたい。

## 8. 指導観

奈良・京都が歴史的景観の保全に努める上で、地域に暮らす住民の生活の利便性を確保しながら伝統を守っていることを理解させ、その難しさに共感するとともに、景観保全のための新しい試みについても考えていきたい。

## 9. 評価基準

関心・意欲・態度	思考・表現	技能	知識・理解
京都や奈良の歴史的景観を守る様々な取り組みに関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。	地域で生活する人々の利便性と歴史的景観の保全について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	さまざまな景観写真や京都市を訪れる方の意見から、歴史的景観を守るための工夫や努力を適切に読み取っている。	京都や奈良の歴史的景観を守る様々な取り組みを理解しその知識を身につけている。

10. 単元構成

- 1時 近畿地方の地形
- 2時 近畿地方の気候と環境問題～琵琶湖の水質改善
- 3時 近畿地方の農業・漁業・林業
- 4時 古都奈良・京都と歴史的景観の保全 ……………【本時】
- 5時 阪神工業地帯と内陸部に集まる中小工場

11. 本時の目標：

奈良・京都を中心とし近畿地方には文化財、歴史的景観が多く残されていることを理解し、社会の変化にともない歴史的景観が変容していることに気づき歴史的な環境を保全する意義を考えられる。

12. 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価基準
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の中にはどのようなものがあるか知り、京都・奈良に多くあることを理解する。</li> <li>・本時の目標を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本にある文化財を写真を見せながら紹介する。</li> <li>○教科書P.204の③のグラフを見て近畿に文化財が多いことを理解させる。</li> <li>○本時の目標が「京都・奈良の歴史的景観を守る意義を考えられるようになる」ということを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財が日本全国にありその中でも近畿地方になぜ多くあるのかを歴史的背景から説明することができる。</li> </ul> <p>[知識・理解][思考・表現]</p>
展開1 (9分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古都奈良・京都とその町なみ</li> <li>文化財、伝統工芸品、祭りについて理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料集P.142を見て奈良・京都にある文化財を確認する。(龍安寺・金閣・銀閣・二条城・清水寺/唐招提寺・平城宮跡・興福寺・東大寺)</li> <li>○伝統工芸品(清水焼・西陣織・奈良筆・墨)や祭り(京都三大祭り・お水とり)について確認する。</li> <li>○京都市が進める景観政策の例を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財、伝統工芸品、祭りに関心を持つ。[関心・意欲]</li> <li>●景観政策の例を見て、環境保全には規制がともなうことを知り、地域の住民の理解が不可欠であることを知る。</li> </ul> <p>[知識・理解]</p>

<p>展開 2 (16分)</p>	<p>・京都の町並みを題材に取り上げ歴史的景観の保全について考える。 4～5人を1グループとして議論する。</p>	<p>○4、5人のグループを決める ○資料を配布し資料を見ながら昔の京都の町なみを残していくのがいいか(「保全派」のカードを黒板に貼る)、暮らしやすい町なみにしていくのがいいか(「利便派」のカードを黒板に貼る)議論させる。</p> <p>○「利便派」か「保全派」かまず自分の意見を出し、グループ内に両者いて合意形成できなかった場合は「どちらも」を選択する。</p> <p>○グループで1つの意見に合意するが、その理由を資料を用いて説明できるようにする。</p> <p>○一部の意見で決めるのではなくグループ全員で話し合い、決定する。</p> <p>○決まったことはワークシートに記入させる。</p>	<p>●自分の意見を持ち、他者の意見を尊重し、議論できる。 [関心・意欲]</p> <p>●資料集・地図帳・教科書の資料から読み取れることをグループ内で共有する。[技能]</p>
<p>展開 3 (10分)</p>	<p>・考えたことを発表する。</p>	<p>○「保全派」・「利便派」・「どちらも」のうち、自分のグループはどれになったかを報告させる。</p> <p>○結論とその理由について資料を用いて発表させる。</p>	<p>●グループの様々な意見をまとめ、わかりやすく説明できる。[思考・表現]</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>・本時のまとめ ・次回予告</p>	<p>○要点を板書する。 ○次回は近畿の工業について学ぶことを伝える。</p>	